

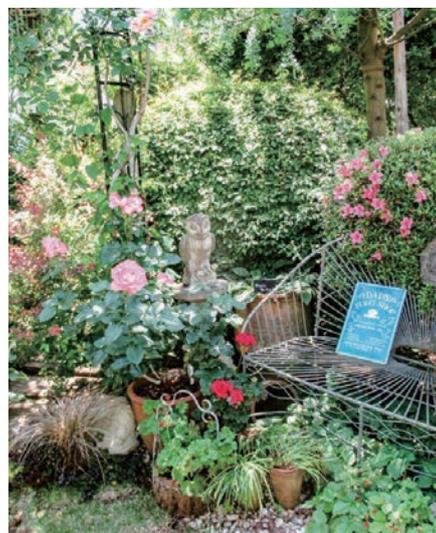
トラまち TOPICS 2024 9月発行

一般財団法人 世田谷トラストまちづくりは

「ひと・まち・自然」が共生する世田谷

の実現を進めています。

財団の取り組みや成果など、
2024年1～6月の話題をご紹介します

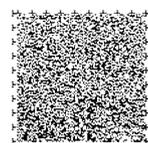


写真左：下馬いのちがめぐる小さな森、右：上から相師谷四丁目小さな森、北鳥山三丁目小さな森、用賀・和みの庭小さな森

バラが主役の小さな森 4か所のオープンガーデン

春のバラが咲く小さな森の4か所を、開催日を変え、参加者に巡っていただきました。テーマは「バラ」。所有者の庭づくりへの視点はそれぞれ違い、興味深いものです。それらの想いに共感しながら、複数のお庭で参加者同士が対話を重ねたことで、お互いに庭相談をし合うなど、1か所にご参加いただくよりも、深い交流につながったようです。小さな森では、オープンガーデンを通じた、みどりの大切さを広げるためのさまざまな試みを、今後も行っていきます。

※「小さな森」とは、みどりを守り育む想いを持った所有者に登録いただいた、50㎡以上の民有地のお庭です。みどり保全の大切さを伝えるため、年に数回、オープンガーデンを開催しています。



みどり

みどりを守り、育む

地域のみどりを活かす取り組みを続けています

野沢周辺3つの小さな森めぐり

「小さな森」の詳細は
右記二次元コードから▶



▲たねダンゴ®…花の種などを土のダンゴに混ぜて植えこむ、子どもも大人も一緒に楽しめる取り組みです

春の芽吹きを感じる3月9日、野沢周辺の3つの小さな森でオープンガーデンを同時開催しました。「野沢3丁目テトーひろばの小さな森」では、たねダンゴ®をつくりました。その隣にある「野沢ときそらの庭小さな森」では併設のカフェスタッフが日々丁寧にお手入れをするお庭をじっくりと見学。ここから少し歩いた「下馬いのちがめぐる小さな森」では春の暖かさを感じるお庭で採れたハーブティーを楽しむことができました。それぞれのお庭を通して所有者の思いに触れ、参加者同士の交流も生まれました。みどりを楽しむ取り組みが広がってゆくよう、今後も個人のお庭を地域にひらいていきます。

※現在、一度のご応募で複数の小さな森をご覧いただける等、様々な企画も試行しています。
※たねダンゴ®は、(公社)日本家庭園芸普及協会の登録商標です。

経堂一丁目仙人掌 市民緑地が誕生しました！



▲2024年2月開設/経堂1-33-12



▲金鱗(サポテン)

小田急線経堂駅から徒歩6分という立地でありながら、シラカシの高生垣に囲まれたこの場所は、かつての農家の佇まいを垣間見ることができる屋敷林です。ケヤキなどの保存樹が8本あり、それら高木の連なりがつくる一団のみどりを、遠方からでも臨むことができます。「仙人掌」はサポテン科植物の総称で、所有者がこの地でサポテンをたくさん育てていたことから「仙人掌」と名付けました。緑陰の涼を楽しむに、是非お立ち寄りください。

「市民緑地」の詳細は右記二次元コードから▶



グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン全国大会 (GIJ) 2024 非常利団体部門 最優秀賞受賞



▲出展したポスター



▲世田谷グリーンインフラ学校 開催案内チラシ

2024年2月20日(火)~22日(木)、東京ビッグサイトで開催されたGIJへ当財団が令和2年度より取り組む『自分でもできる雨庭づくり』のポスターを出展しました。期間中に行われた来場者による投票の結果、当財団のポスターが「非常利団体部門 最優秀賞」を受賞することができました。個人宅などでつくれる雨庭を学び、演習フィールドで手づくり施工する「世田谷グリーンインフラ学校」を今年度も全3日間で開催します(10月12日、26日、11月4日)。ぜひご応募ください。



財団のすすめるグリーンインフラの
詳細は左記二次元コードから

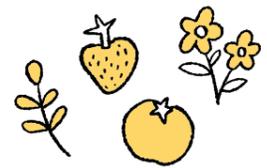
「世田谷グリーンインフラ学校」
応募は右記二次元コードから▶



まな 学ぶ

身近な自然を学び、活かす

世田谷の環境から学んだことを伝え、広げます



“せたのうボランティア” が活動スタートです！



▲春に講師とともにベジタブルガーデンを施工しました

せたのう(瀬田農業公園【分園】)が拡張されてから2年。この間、野菜づくり講習会を2年目まで修了された10名の皆さんが「せたのうボランティア」として、4月より活動を始めました。

区民の皆さんに「農を楽しく体験する機会」を届けたい！と「花と野菜が融合するベジタブルガーデン」について、4月から矢田陽介氏(ボタニカン主宰)を講師に迎え、デザイン企画から始めています。このほか「親子で楽しめる体験」など、あれもしたい！これもしたい！とアイデアを膨らませながら、季節ごとに楽しめる「せたのう」を目指していきます。



▼夏空の下、元気なヒマワリ▶

瀬田農業公園(分園)
[瀬田5-11-21]
詳細は右記二次元コードから▶



4年ぶりに「成城五丁目猪股庭園解説ボランティア養成講座」を開催しました！

旧猪股邸は、建築家の吉田五十八氏が設計した建物です。2001年からボランティア養成講座を随時実施し、その修了生たちが解説活動をしています。

2024年1月28日、2月18日に2回連続講座を行い、16名が参加しました。講座を終えた皆さんは現在、来園者に声をかけるのもドキドキしながら、先輩達に教えてもらいながら活動してくださっています。ボランティアの皆さんそれぞれが感じたこの猪股庭園の魅力も伝えながら、来園されたみなさまと一緒に楽しむ気持ちと、おもてなしの心でお出迎えしています。



1日目、ビジターセンターでの座学の様子▲



※ボランティアの解説活動は、不定期で行っております。

成城五丁目猪股庭園 [成城5-12-19]
詳細は右記二次元コードから▶



2日目、現地で建物と庭園の見方を学びました▲

ぜひ、世田谷のみどり保全&まちづくり活動のサポーターになってください！



トラストまちづくり
会員募集中！

世田谷の「ひと・まち・自然」を支える応援団に、あなたもぜひ！
“トラストまちづくり会員”や“トラストボランティア”として、
ライフスタイルに合ったご支援、お願いいたします！

トラストまちづくり
会員について
詳細は右記二次元コードから▶





展覧会 世田谷のまちと暮らしのチカラ —まちづくりの歩み 50年—
2024.1.31-4.21@ 生活工房 3,4 階 | 来場者 18,250 名

1974年に地方自治法が改正され、1975年に区長公選制が復活してから50年の節目にあたる2024年。世田谷のまちづくりのこれまでと、これからを展望する展覧会を開催しました。

展示物は100名を超える方々の協力により150点以上で構成されました。また、子どもキャッチコピーコンクール、未来の世田谷を考えるシンポジウムなど24の関連イベントを実施しました。

学生など若い世代の来場も多く、市民とまちの多様な関係や参加の手法から、住むまちと自らの関係への気づき、関わり方へのヒントなどを得られたというアンケートも寄せられました。

行政、市民、企業など多くの方々の関わりによって開催できた展覧会ですが、このことそのものがまちづくりのプロセスであるとともに、世田谷らしい展覧会になりました。

今後も当財団では多様な参加・協働・連携のもとで事業を進めてまいります。



「いづかさんち」が地域共生のいえに登録されました！

2024年3月、京王線八幡山駅徒歩5分の場所に、新たに地域共生のいえが誕生しました。国産の無垢材を使い、昔ながらの伝統構法で建てられたお家で、お庭をながめながらゆったりと過ごせます。公開は毎月1回、既にリピーターの方もいて「ここはとても居心地が良い。月に1度の楽しみが出来た」とおっしゃっています。また、年に2回(5月と11月)、健康や介護・防災等をテーマに専門家を招いての勉強会も開催予定で、「いづかさんち」からつながるご縁や学びの輪の広がりに期待が膨らみます。



イラスト：飄斎(小塚秀忠)



「いづかさんち」
詳細は右記二次元コードから▶



本紙についてのご意見、ご感想をお聞かせください！

WEBアンケートにご回答いただいた方に、
もれなく「イラスト缶バッジ」をプレゼント！

より魅力のある情報を発信するため、ぜひご協力をお願いします。



▲5種類のいずれか1個をお送りします。おたのしみに！

回答期限：2024年11月15日(金)

WEBアンケートは
上記二次元コードから



一般財団法人 世田谷トラストまちづくり
SETAGAYA TRUST & COMMUNITY DESIGN

2024年9月発行
〒156-0043 世田谷区松原6-3-5
Tel 03-6379-4300(代表)
Fax 03-6379-4233



SNSで、イベントの様子や、最新情報が
見られます！



フェイスブック▶



X(ツイッター)▶



インスタグラム▶



〈個人情報の取り扱いについて〉

当財団にお寄せいただいた個人情報は財団からの連絡に利用します。取得した個人情報は、法令に基づく場合または本人の同意がある場合を除いて第三者に提供することはありません。また委託する際は、利用目的の範囲内で適法にこれを行います。開示請求等の場合は個人情報保護管理者：管理課長(電話03-6379-4300)までお問い合わせください。